

丸森町 丸森町立丸森小学校(総合的な学習の時間) 「青葉の田植え踊り」

○市町名 丸森町

○学校名 丸森町立丸森小学校 3学年

○期 日 令和5年10月18日(水)

○内 容

総合的な学習の時間

- ・「青葉の田植え踊り」の学習をとおり、地域の人々の思いを知り、地域の良さを引き継いでいこうとする意欲を育てる。

○講 師

青葉田植え踊り保存会

会長 荒 茂美氏(全体指導)

塩沼忠良氏(笛)

菅野一子氏(唄)

八巻充子氏、阿部尚子氏、

阿部美智代氏

(弥十郎、太鼓、鉦指導)

菅野郁恵氏、佐藤真優美氏

(早乙女踊り指導)



○児童の声

- ・踊り始めたころは、難しい動きがたくさんあってうまく踊れませんでした。保存会のみなさんに優しく教えてもらったことで、踊れるようになりました。学習発表会での踊りの発表も大成功させることができとても嬉しかったです。



- ・踊りを初めて見たときは、自分がうまく踊れるか自信がありませんでしたが、そんなときに保存会の先生方が優しい言葉で勇気付けてくれました。とても嬉しかったです。その言葉のおかげで学習発表会本番も自信を持って踊ることができました。



- ・保存会の皆さんから、田植え踊りの歴史や文化を聞いてとても驚きました。踊り自体もとても魅力的で、楽しみながら踊ることができました。田植え踊りのことをたくさん教えてもらったので、これからも大切にしていきたいです。



・僕は田植え踊りを保存会の皆さんと一緒に踊れたのがとても楽しかったです。たくさん練習にも来てくれていつも優しく教えてくれました。また保存会の皆さんと一緒に踊りたいです。



○講師から

昨年度に引き続き丸森小学校で「青葉の田植え踊り」に取り組んでくださったことに感謝申し上げます。

2年目の今年は、児童数が多いことと太鼓と鉦（かね）の演奏や「先代田植え」の踊りにも挑戦するというので、果たしてうまく伝えることができるだろうかと心配でした。でも、子供たちの熱意と元気な笑顔が私たちに力を与えてくれました。練習回数が少ない中、集中して練習に取り組んだ子供たちは一回一回大きく成長し、とても上手に踊れるようになり、私たちもとても嬉しく感じました。教え合ったり、励まし合ったりする姿もとても素敵で、頼もしさも感じました。もちろん、丸森小学校の先生方の大変なご尽力があったことはいまでもありません。

「青葉の田植え踊り」は、宮城県指定無形民俗文化財となっており、美しい振りや御詠歌のような節回しが特徴的なとても素敵な踊りです。後世に末永く伝えていかなければならないものです。子供たちが小学校で体験した郷土の踊りに興味を持ち、また踊ってみたいと思ってもらえたら、この上ない喜びです。

このような機会を与えてくださり、大変ありがとうございました。



○教職員の声

令和4年度に丸森町内の5つの小学校が再編され、新丸森小学校がスタートして2年目となりました。3年生の総合的な学習の時間の学習として、大内地区の「青葉の田植え踊り」に昨年度から取り組んでいます。今年度も、田植え踊り保存会の方々を講師としてお招きし、口上や踊りを教えていただきました。田植え踊りは、「鈴」、「綾竹」、「扇子」、「銭太鼓」という道具を使って、米の豊作を願って踊られています。

今年度は、昨年度取り組んだ踊りに加え、扇子と銭太鼓を使って踊る「先代田植え」にも挑戦しました。子供たちは、道具の華やかさや苗を植えているような振り付けに魅力を感じ、次の練習を楽しみにするほど興味をもって取り組んでいました。体験をとおして学んだ田植え踊りの魅力を、より多くの人にも知ってもらいたいという思いを持つことができました。

（金子 航太 先生）



○教育事務所から

地域の伝統文化である「青葉の田植え踊り」を伝承する地域の方々から、踊り方だけでなく地域の伝統文化のすばらしさを学び、多くの人に踊りと地域の思いを伝えようとする子供たちの姿から、ふるさとへの愛着の深まりが感じられました。